

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう笠岡2組		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成・共有・モニタリングが非常に丁寧で、スモールステップを意識した計画立案が行われています。職員間で目標や支援方針の共通理解を図りながら支援できている点は大きな強みです。	視覚支援や構造化を意識し、スケジュール掲示や絵カード等を活用して、子どもが理解しやすい環境づくりを行っています。	フォーマルアセスメントツールの導入を検討し、より客観的な評価に基づく支援につなげていきます。
2	日々のミーティングや記録共有を通して、チーム支援が機能しています。支援前後の打ち合わせや振り返りを行い、支援の質向上に努めている体制が整っています。	活動が固定化しないよう職員間で企画会議を行い、新しい活動や子どもの「やってみよう」を取り入れています。	地域支援・地域連携の視点を強化し、交流機会を少しずつ増やしていきます。
3	保護者満足度が高く、「安心して通えている」「支援内容に満足している」という評価が多く見られます。送迎時の報告や面談を通じた丁寧な情報共有が信頼関係につながっています。	安全管理面では、避難訓練・BCP・ヒヤリハット共有・虐待防止研修などを継続して実施し、リスク管理意識が高い運営ができています。	職員全員が同じ声掛け・支援ができるよう、支援方法のさらなる統一を図っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自由ルームの音が学習スペースに届くなど、環境面で集中しにくい場面があります。	施設構造上、音やスペース配分に物理的な制約があります。	空間の使い分けや環境調整を行い、集中しやすい環境づくりを進めます。
2	地域交流や他児との交流機会がまだ十分とは言えません。	日々の業務量や送迎時間の関係で、十分な振り返り時間を確保しづらい日があります。	短時間でも振り返りができる仕組みづくりを行い、共有精度を高めます。
3	活動後の振り返りや記録共有が十分に行き届かない場合があります。	地域連携は調整や安全面への配慮が必要で、慎重な計画が求められます。	地域施設との連携を段階的に進め、無理のない交流機会を検討していきます。